学習の森だより No.152

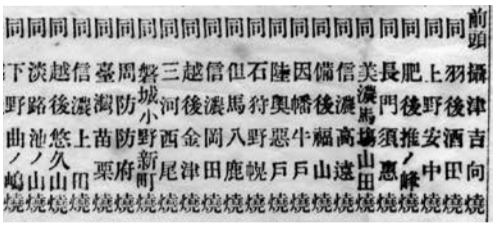
「安中の文化財」

自性寺焼・下野尻焼・安中焼の名称

近代の安中の陶器については、近藤京嗣氏が自性寺焼と下野尻焼を紹介したのが初めです（『日本やきもの集成1』昭和五十六年）。

自性寺信号付近で操業していた窯は桂昌寺の平子慧定住職が窯の名もないことから自性寺焼と呼んでいるうちにそれが定着したとしています。ただし、『上毛及上毛人』第六十三号（大正十一年）に安政年間（一八五四～一八六〇）に自性寺焼と称する陶器があったが廃絶したという記事があり、平子住職が名付ける以前にも自性寺焼と呼ばれていたことが確認できます。

下野尻の観音堂近くで操業していた窯には名称がなく、近藤氏は下野尻焼と名付けました。また、小山宏氏は下野尻の窯元市川弥平衛の名前から弥平窯と呼んでいます（「近世・近代、上野国陶磁器生産に関する一考察」『群馬文化』第二三五号　平成五年）。



大日本陶磁器窯元一覧（部分）大西雅広氏所蔵

下秋間の時澤佐市が明治十年の第一回内国勧業博覧会に急須・茶壺・煉瓦石、明治十四年の第二回内国勧業博覧会に陶土・土瓶・煉瓦石、同じく第二回内国勧業博覧会に下野尻の土本初太郎は植木鉢・山葵おろし・神酒徳利、明治二十三年の第三回内国勧業博覧会に下野尻の藤澤庄作は花瓶・植木鉢・陶器糸巻を出品しています。いずれも個人の名前で出品しています。

近年、大西雅広氏が明治二十一年の「大日本陶磁器窯元一覧」の前頭に「上野 安中焼」があることを発見し、明治時代に安中で焼かれていた陶器は歴史的には「安中焼」という呼び方が適切であると指摘しています（『群馬の遺跡』第七巻　平成十七年）。

平成３０年度
「文化財愛護ポスター」
優秀作品（敬称略）
内田　壮緒（安中小学校５年）

企画展 安中のやきもの －秋間古窯跡群から自性寺焼へ－

穴窯で焼く陶芸教室

講師は陶芸家の青木 昇 氏（自性寺焼里秋窯）です。

2/25まで

【日程】第１回：平成 31 年１月 20 日（日）　第２回：平成 31 年１月 27 日（日）
【時間】午前10時～午後3時（昼食持参）　**【定員】**各回 20 人（先着順）
【会場】学習の森　生涯学習施設　創作工房３　**【材料費】**3,000 円
※焼締の作品になるため、絵付けはいたしません
※陶芸教室の参加者は、自性寺焼里秋窯（安中市下秋間 4670-1）での窯焚き・窯出しの体験が可能です。
【窯焚き】平成 31 年２月 25 日（月）～３月３日（日）
【窯出し】平成 31 年３月 10 日（日）午前10 時 ～
※日程などの詳細は陶芸教室にてお知らせいたします。

第2回 企画展連続講座「自性寺焼よもやま－自性寺焼復興40周年を記念して－」

平成 31 年１月 13 日（日）午後1時30分～ 3時30分　〔講師〕青木 昇 氏（自性寺焼里秋窯）
【会場】学習の森ふるさと学習館　市民ギャラリー　**【資料代】**300 円（観覧料込み）
【定員】50 人（先着順）**【申込方法】**電話でふるさと学習館へ申し込み　※当日受付も可

問合せ▶安中市学習の森 ふるさと学習館
安中市上間仁田951　Tel. 382－7622　mail : furusato@city.annaka.lg.jp